



# 日乗連ニュース ALPA Japan NEWS

発行：日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan  
事務局  
〒144-0043  
東京都大田区羽田5-11-4  
フェニックスビル  
TEL.03-5705-2770  
FAX.03-5705-3274  
E-mail:office30@alpajapan.org

www.alpajapan.org

Date 2012.10.9

No. 36 - 10

## IFALPA 主催の安全セミナー開催決定！ (2013年10月、場所は東京エリアを予定)

### 1. IFALPAにおける安全啓蒙活動の推移

ALPA Japan が所属する IFALPA (International Federation of Air Line Pilots' Associations) は、長年に渡って安全問題に強い関心を持っています。従来からの取り組みで代表的なものは AAP (Accident Analysis and Prevention) Committee を中心とした、英国クランフィールド大学における航空事故調査のノウハウを学ぶコースへの人材派遣です。日本の運輸安全委員会に所属する事故調査官も受講するこのコースへは、ALPA Japan から多くの受講者を輩出しており、Accredited Accident Investigator 資格者は日本の民間パイロットに多数存在しています。

こうした事故調査活動は、事故が発生した結果を検証する「リアクティブ=対処型」な活動と位置づけられ、事故の再発防止に焦点が当てられています。一方で、近年の航空機事故に関する考え方は「プロアクティブ=未然防止型」な活動が主流となっています。その流れを受けて IFALPA では、航空機事故の未然防止には安全教育が重要であるという観点から、様々な安全啓蒙活動を実施するようになりました。

当初、その活動の多くは欧米諸国を中心とした地域で開催されることが多く、航空機の事故率が多い発展途上国のパイロットが参加することは少なく、活動の普及は必ずしも芳しいものではありませんでした。そこで AAP Committee の開催地を発展途上国メインとし、Committee 前後に Safety Seminar を開催することでその地域のパイロットが参加しやすい環境を構築していきました。

### 2. SVS (IFALPA Safety Volunteer Seminar) の設立

2005 年からは、ISS (IFALPA Safety School) という専門の教育シラバスを持ったセミナーシステムを構築し、AAP Committee の活動日程以外にも Safety Seminar を開催する機会を増やす努力をしてきました。その結果、世界各国で ISS という名称での安全セミナーが開催されるようになりました。近年では AGE (Aerodrome Ground Environment、飛行場環境) Committee や、毎年開催されるアジア地域における IFALPA Regional Meeting の前後といった機会でも ISS 安全セミナーを数多く開催してきました。

ISS の活動は IFALPA OB を中心としたメンバーによって支えられてきましたが、2011 年からは IFALPA 本部直轄となり、IFALPA が全面的にバックアップするよう組織改編されました。それに伴い名称も SVS (IFALPA Safety Volunteer Seminar) へと変更、第 1 回の SVS は今年 9 月に南アフリカのヨハネスブルクで AGE Committee の後に開催され、アフリカ諸国のパイロットを中心に多数の参加者がありました。

### 3. 2013 年の SVS は日本開催！

北東アジアは近年、世界で最も航空機事故の少ない地域の一つとなっていますが、交通量の急増や LCC の台頭などによる環境変化が著しいこと、また 2000 年の IFALPA 総会を東京で開催した後、安全をテーマとした IFALPA 主催の会議・セミナーが開催されていないことから、SVS の日本開催が望ましいと ALPA Japan は考え、誘致活動を行ってきました。その結果、2013 年 10 月に日本で開催されることが正式に決定しました。

開催決定から 1 ヶ月程度しか経過していない事から、詳細については今後詰めていくこととなりますが、今後 1 年間、皆様に SVS の紹介をしていくと共に、皆様の参加を募っていきたく考えています！

(以上)

